

上咽頭がん 放射線治療後の外来での嚥下リハビリ

Kさん（71）は2015年に上咽頭ガンの放射線治療を受け、固形物が喉に詰まることがあり、飲み込みにくくなりました。その時、受診していた病院から当院の嚥下外来の紹介を受け受診。現在は、外来で週1回の嚥下リハビリを受けられています。



Q. リハビリで印象に残っていることは？

嚥下のリハビリは、発声練習、吹き戻しを使った呼吸練習、舌の運動などレベルに合わせてやっていただきました。また、介護食品を使った食べる練習もあり、食べることにに対する不安も少なくなりました。これまではメイバランスを1日に7本飲んでいましたが、食べれるものが増えてきてメイバランスを減らすことができました。いつか韓国冷麺が食べたいです。

自宅での自己練習も頑張っており、職場の同僚の方からは、前より言葉が「はっきり聞こえるようになったね」と言ってもらえました。

Q. スタッフの対応はどうでしたか？

管理栄養士の方からは、食事のアドバイスを頂け、安全に食べれるものを教えていただいたり、栄養面の話も聞くことができました。

また、かかりつけの歯科では、口を大きく開けられないため、歯の型取りができなかったのですが、こちらの病院の歯科口腔外科で開口訓練を行い、開口幅も大きくなり、歯型も取れました。

いろいろな職種のスタッフの方々はとても優しく、親身になってくださり、安心して通うことができました。

流動食

 歯茎で
つぶせる

舌圧

17.4 k Pa

24.1kPa

これまでは、流動食のみで固形物は食べていませんでしたが、今はカフェでお友達とチーズケーキも食べれるようになりました！



- ・ 介入事例は、ご本人様の許可を得て掲載しております。内容の無断転用・転載はご遠慮ください。
- ・ 事例は効果を保証するものではありません。嚥下リハビリの適用には条件があります。また、患者様の状態によっては、経口摂取が難しいと判断される場合もあります。

医療法人 錦秀会

阪和第二泉北病院

〒599-8271 堺市中区深井北町3176番地

詳細は、お電話で「嚥下外来のご予約」とお気軽にお問合せください

072-277-1401

(電話受付：平日：9：00～16：45)

